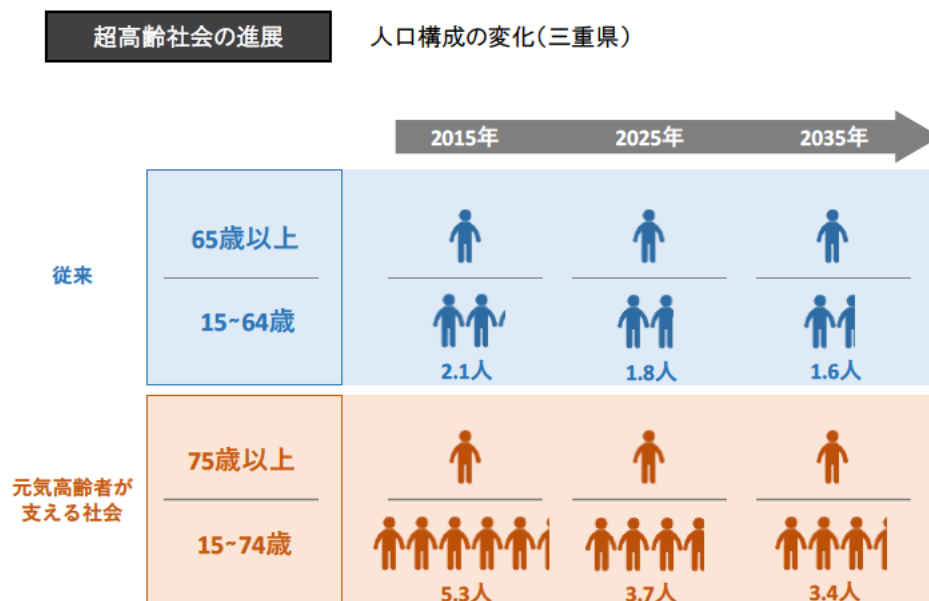


第1章 介護助手の導入指針

1-1 介護助手事業の背景

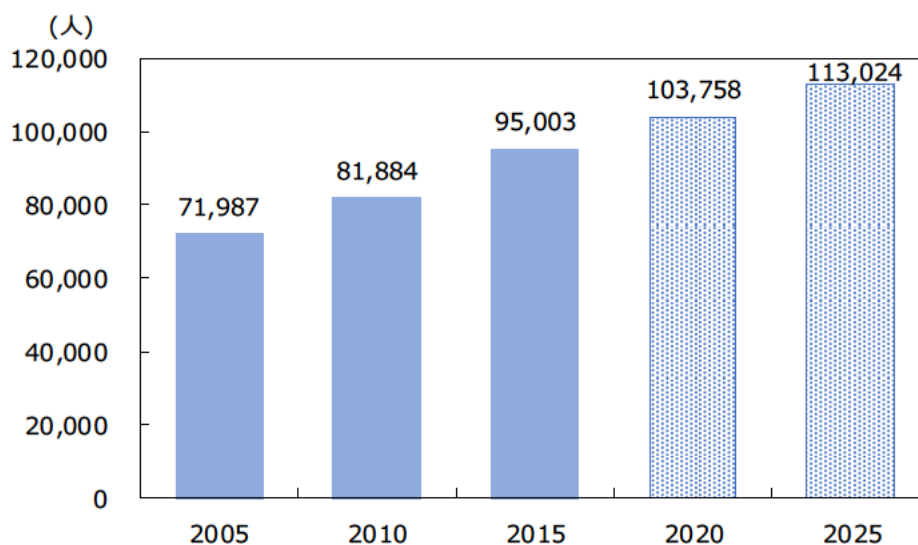
背景1 高齢化の進展

高齢化が進展し、75歳以上の人口が増加し、支援が必要な高齢者が増加してきています。一方で、支え手となる年代の人口は減少に向かい、構造的な人材不足の状況にあり、これまでの考え方からの転換が求められているといえます。



資料: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成30年推計)

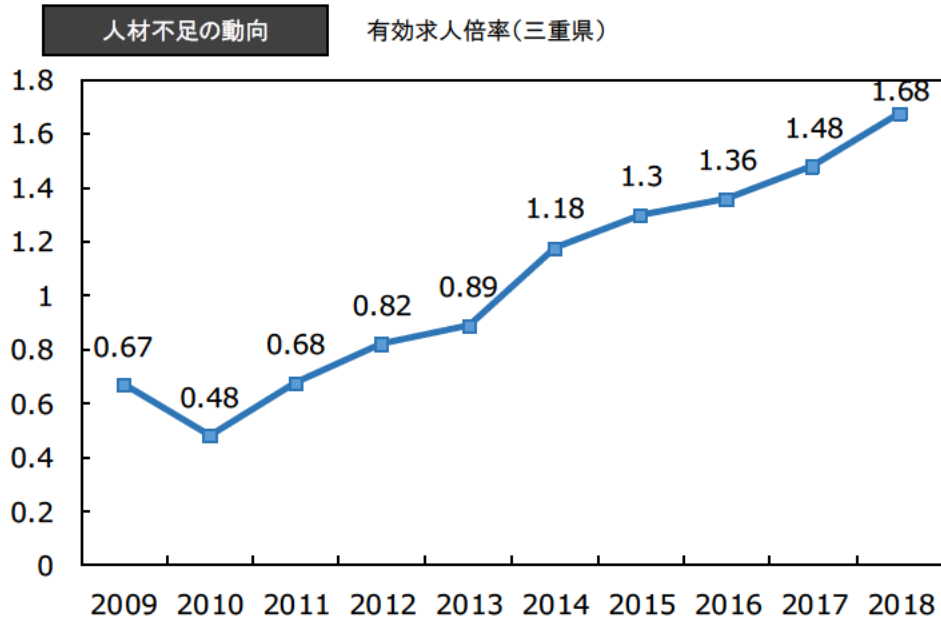
支援が必要な高齢者の増加 要介護・要支援認定者数の推移(三重県)



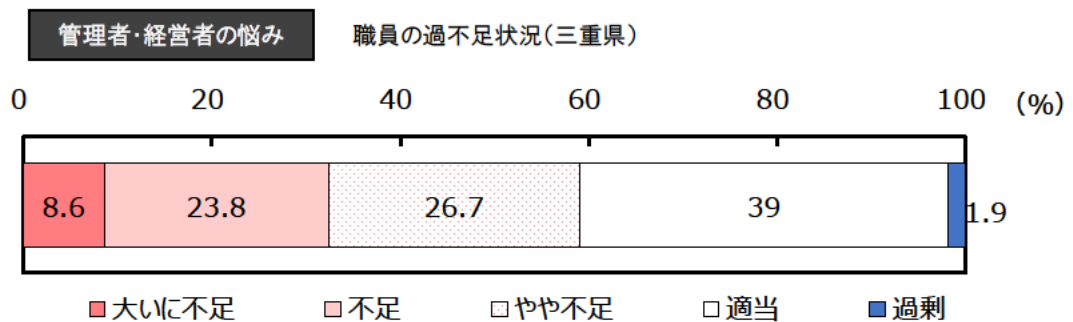
資料: 厚生労働省「介護保険事業状況報告」、2020年・2025年は三重県推計

背景2 介護人材の不足

介護人材の不足は、管理者や経営者の悩みであるだけでなく、ケアの現場を担う介護職員の最大の悩みになっています。人手が足りないことにより、介護職員に大きな負担がかかっていたり、利用者に丁寧に向き合いたい、寄り添いたいと思っても、その時間が十分にとれないという状況があります。



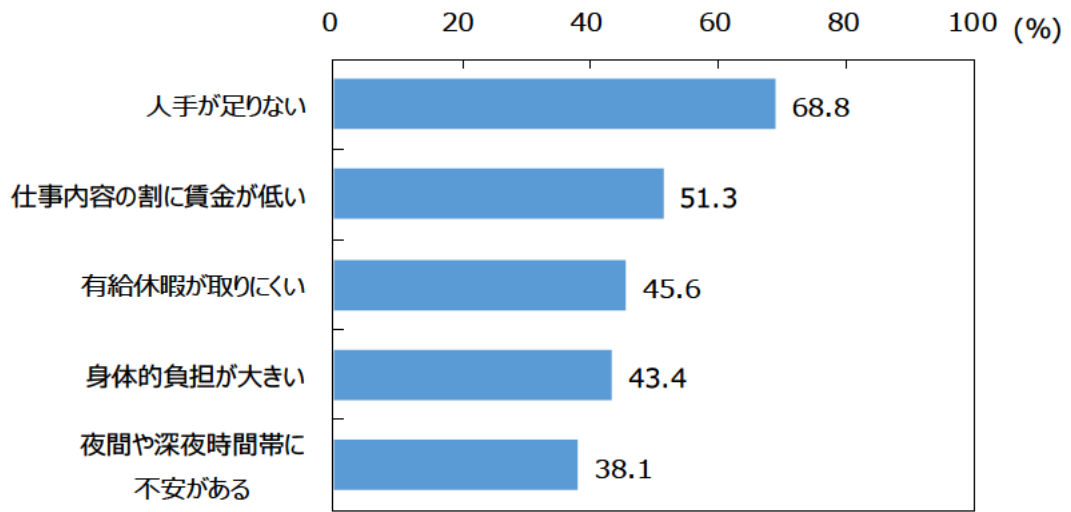
資料:三重県労働局職業安定部「労働市場月報」(平成30年12月)



資料:(公財)介護労働安定センター・三重支所「介護労働実態調査」(平成29年度)

介護職員の悩み

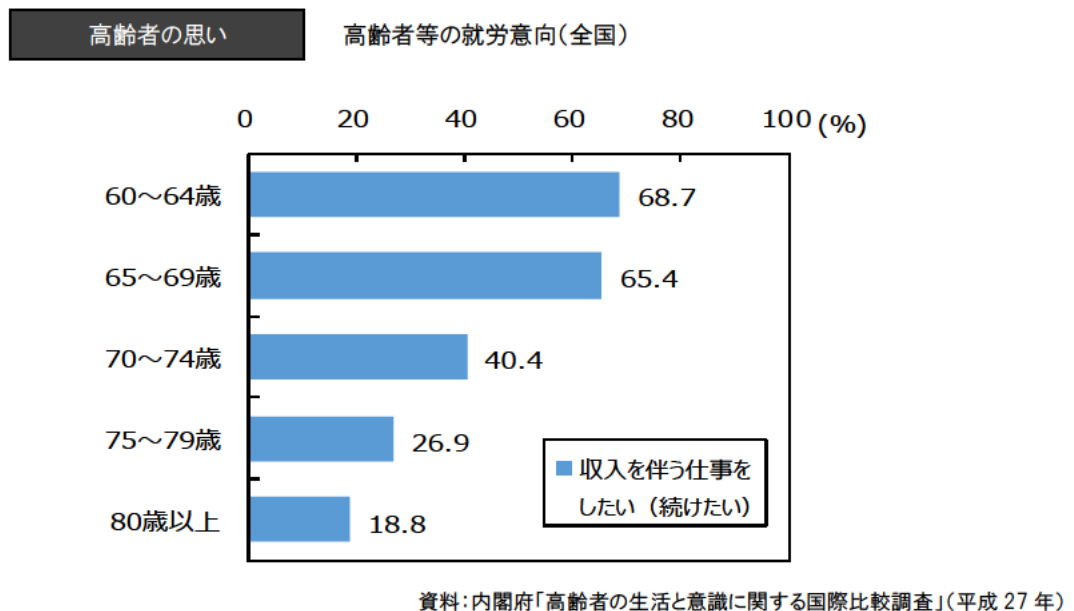
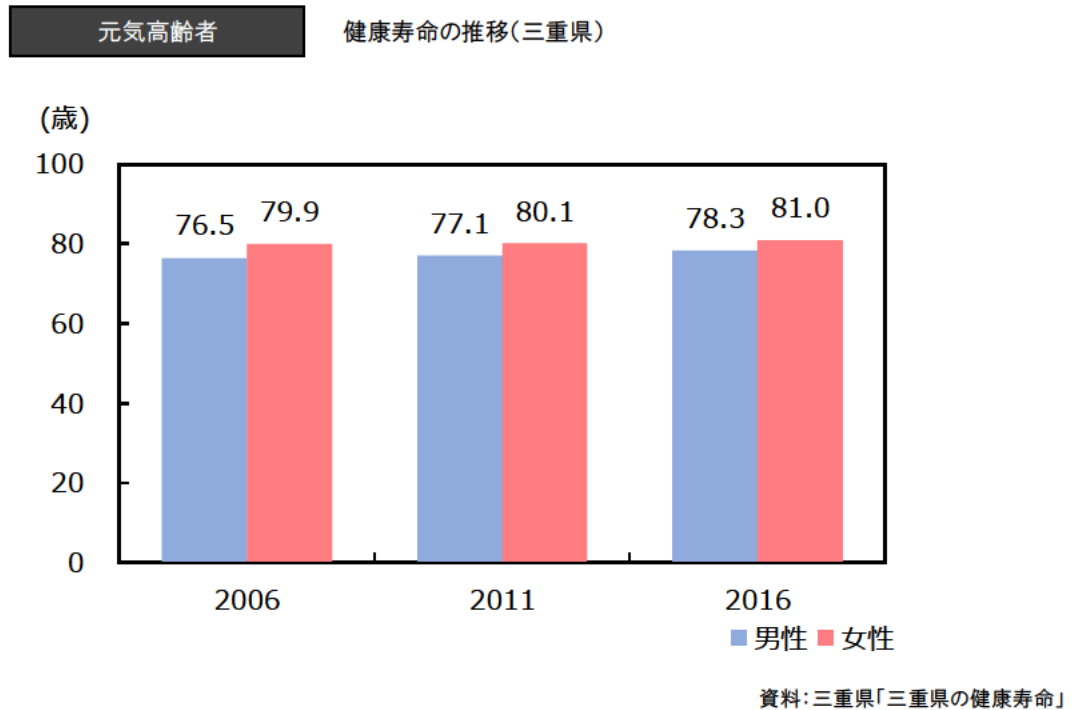
働く上での悩み・不安・不満について(全国)



資料：(公財)介護労働安定センター「介護労働実態調査」(平成 29 年度)

背景3 元気高齢者の存在

一方で、働きたい、働き続けたいと考える高齢者は多く、例えば70～74歳では4割の人が就労を希望しているという調査結果があります。



1-2 介護助手事業の目的

目的1 介護人材の確保

管理者・経営者と介護職員の共通の悩みである「介護人材の確保」を図ります。介護助手は、すそ野を広げ、多様な人材の参加を得るという視点に基づき、介護職場における「補助的な業務」を担います。

目的2 介護業務の質の向上

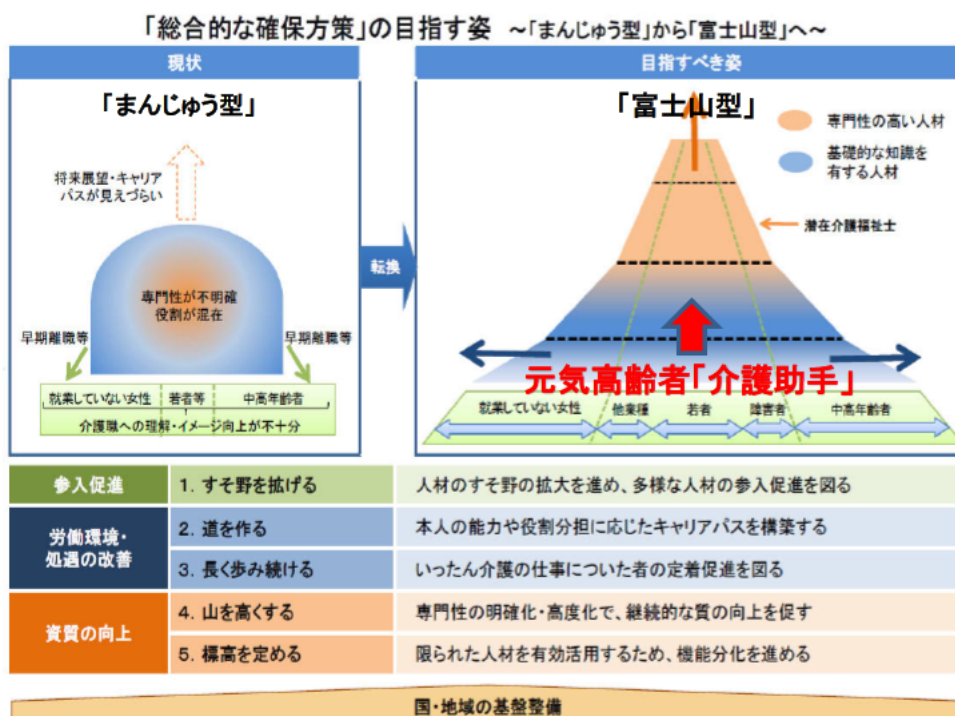
介護助手は、介護人材の役割分担・機能分化を促します。補助的な業務は介護助手にお願いし、介護職員は介護職員ならではの「身体介護」や利用者の「個々のニーズ」に応じたきめ細やかな介護に注力することができます。

目的3 高齢者の就労や健康づくりの実現

何かしらの形で就労したいと考えている高齢者は多く、収入を得る機会を作ることができます。また、就労は、身体機能の維持や認知症の予防にプラスになるという研究結果もあり、高齢者の健康づくり、生きがい、社会参加などの機会を作ることができます。

<参考> 人材確保の全体像

介護人材が不足する中で、「まんじゅう型」のような職能制度から、「富士山型」の専門性や機能分化を図り、介護福祉士等は専門的な業務を担い、誰でもできるような日常生活支援のお世話を介護助手等が担っていくことが求められています。

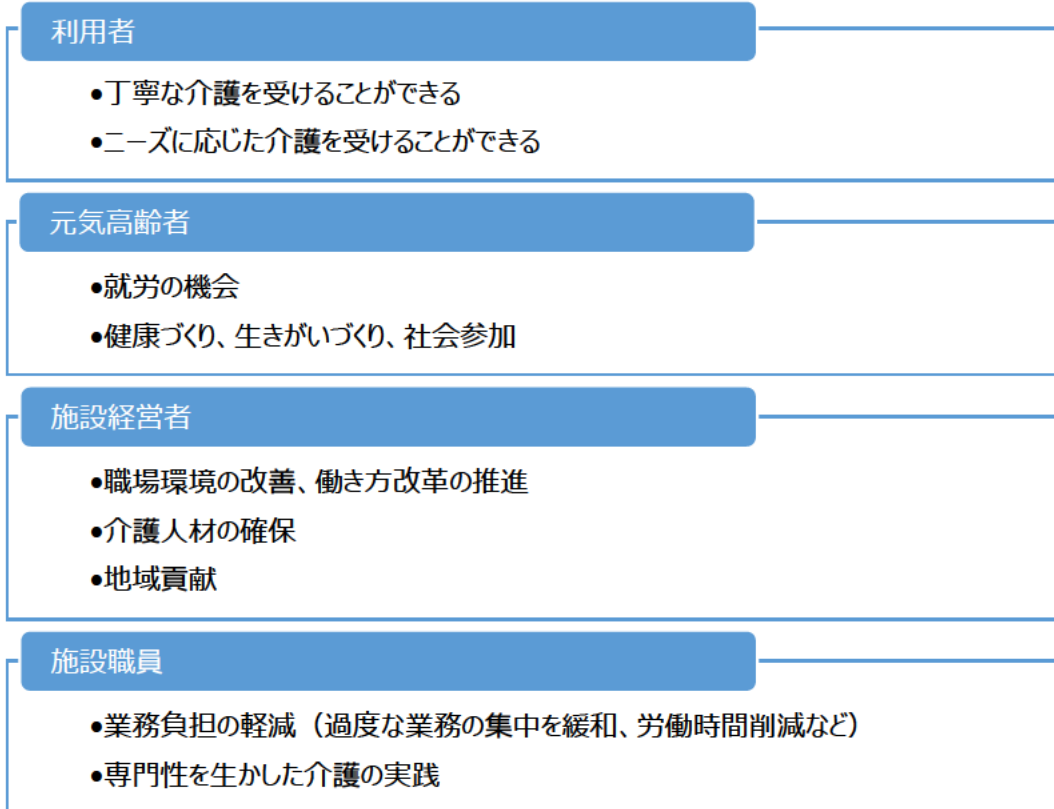


資料：厚生労働省「社会保障審議会介護保険部会(H26)」

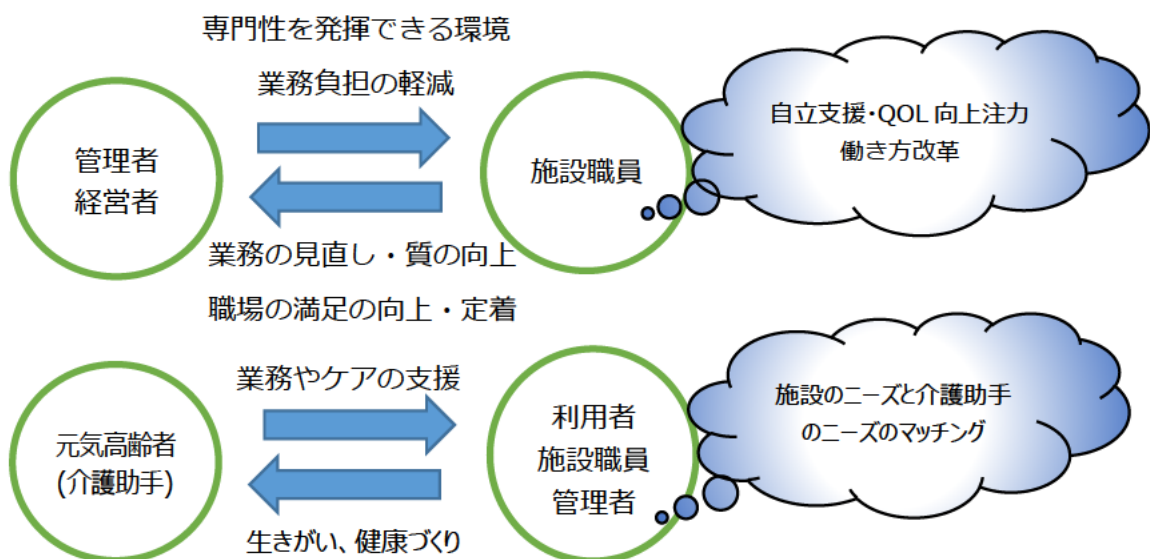
1-3 介護助手事業のポイント

ポイント1 みんなにプラス

介護助手事業は、利用者、元気高齢者、施設経営者、施設職員みんなのプラスになる力があります。

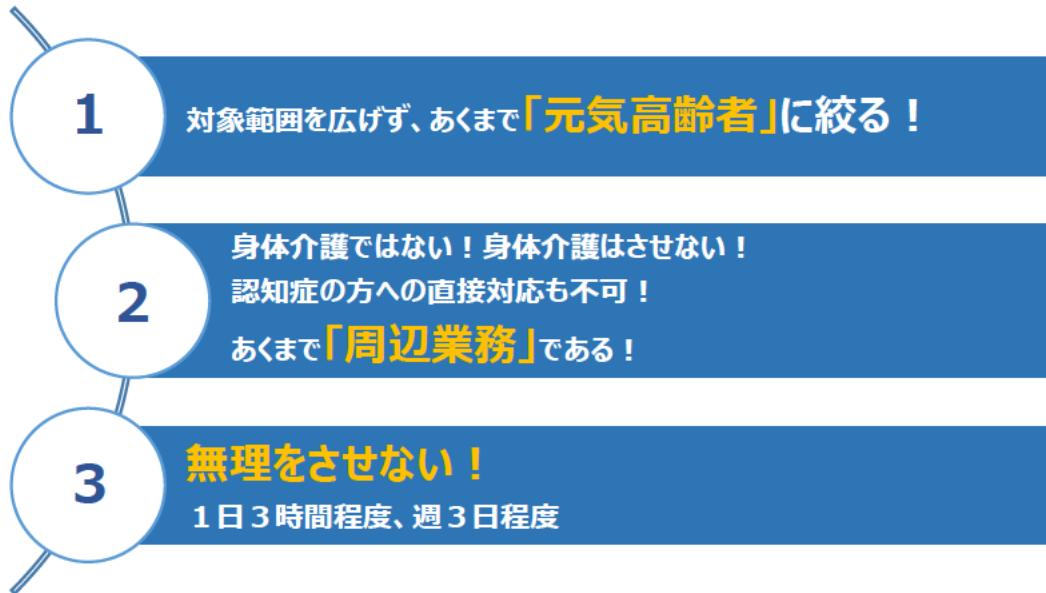


● win-win の関係づくり



ポイント2 介護助手導入がうまくいくコツ

介護助手導入のコツとして、発案元である全国老人保健施設協会により次のポイントが示されており、これらの点を踏まえることが必要です。以降で述べる基本的な導入手順(共通モデル)も、これらに沿ったものとしています。



全国老人保健施設協会作成資料をもとに作成

元気高齢者であってほしい理由

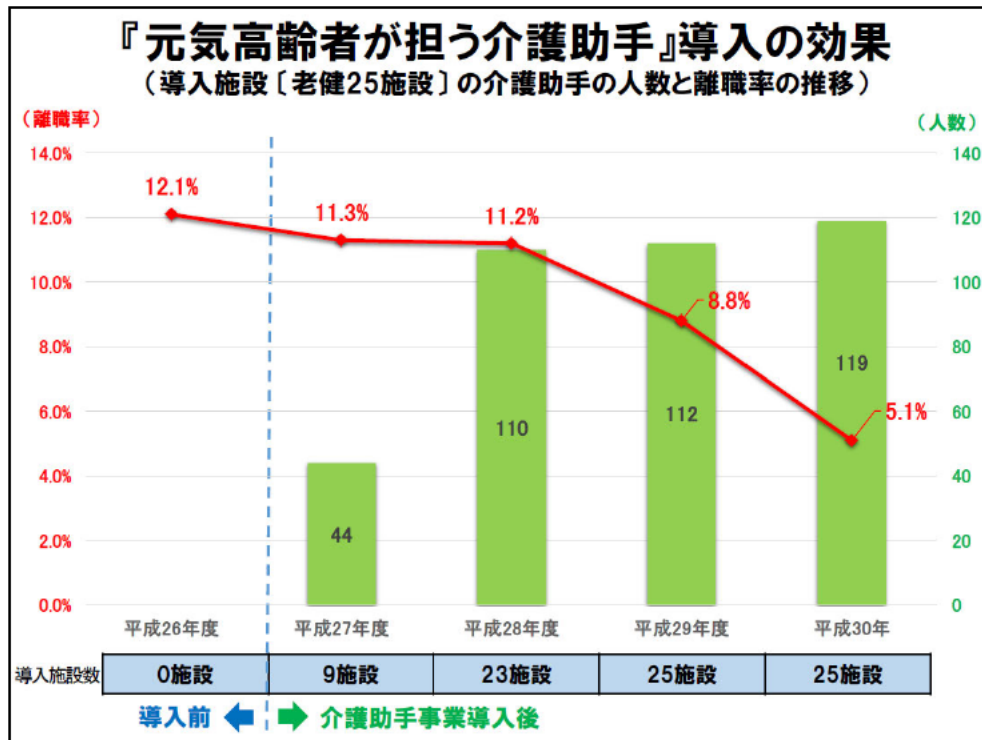
社会貢献	介護予防	将来のための知識の獲得
•直面している超高齢化社会の原因となっている高齢者自身がその問題解決の一助となる。	•介護予防の効果	•介護現場を知ってもらい、将来のための参考にしてほしい。

ボランティアではなぜダメなのか？

- ① ボランティアでは、スタッフとして計算できない。(職場の戦力として不安定)
- ② 職員として仕事をお任せしたい。(賃金により責任も発生する)

全国老人保健施設協会作成資料をもとに作成

<参考> 介護助手導入による離職率の変化



全国老人保健施設協会作成資料

ポイント3 段階的な目標設定

介護助手の効果は、すぐに現れることもあれば、段階を経て発揮されていくものもあります。介護助手の導入検討を機に、施設にとっての課題を明らかにし、目指したい姿までのステップを検討してみましょう。

